

製品名: CNOT7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09131**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	CNOT7
別名	CNOT7; CAF1; CCR4-NOT transcription complex subunit 7; BTG1-binding factor 1; CCR4-associated factor 1; CAF-1
遺伝子 ID	29883.0
SwissProt ID	Q9UIV1
免疫原	抗血清はヒト CNOT7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

背景

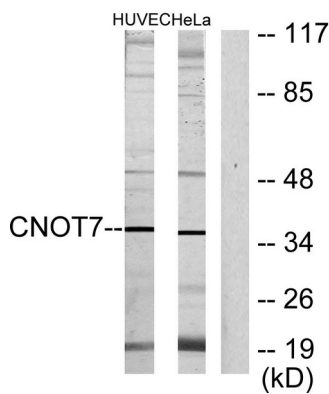
CCR4-NOT 転写複合体サブユニット 7 (CNOT7) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞増殖を負に制

御する抗増殖タンパク質である B 細胞転座タンパク質 1 に結合します。抗増殖タンパク質のリン酸化によって引き起こされる 2 つのタンパク質の結合は、細胞分裂におけるシグナル伝達イベントを引き起こし、細胞間接触に関連する細胞増殖の変化につながります。コードされているタンパク質は自然免疫応答をダウンレギュレーションするため、外来物質に対する抗菌活性を高めるための治療標的となります。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。関連する偽遺伝子は 1 番染色体と X 染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2016 年 4 月]、機能: 多様なプロセスに必要な普遍的な転写因子。遺伝子発現の制御に関与する CCR4 複合体の構成要素である。類似性:CAF1 ファミリーに属する。サブユニット:TOB1 と相互作用する。

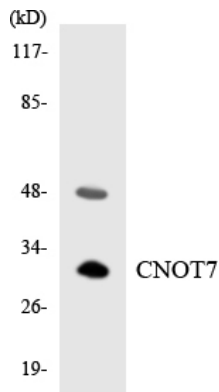
研究分野

RNA 分解;

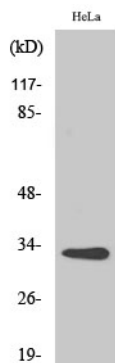
画像データ



CNOT7 抗体を用いた HeLa 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



CNOT7 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。



CNOT7 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。

